

2012年02月02日

トヨタ、ロシア工場の生産工程を拡充

トヨタ自動車(株)(以下、トヨタ)のロシアにおける車両生産会社であるトヨタ モーター マニュファクチャリング ロシア("TOYOTA MOTOR MANUFACTURING RUSSIA"、以下、TMMR)は、工場にプレスおよび樹脂成形の工程を追加することを発表した。

TMMRでは現在、溶接、塗装、組立の生産工程を行っており、今後も持続的な市場の成長が期待されるロシアにおいて更なる現地化の推進を図るべく、この度工程の追加を決定した。TMMR松永良典社長は、今回の決定について、「ロシアで生産しているカムリがロシアのお客様に高い評価をいただいた結果であり、 Санктペテルブルク市の産業の発展にも貢献できるとともに、将来のトヨタの生産拡大に向けた大事な一歩となる。」と述べた。追加工程の稼働開始は2014年内予定、今回の拡充に関わる投資額は約70億円(約27億5000万ルーブル)。

トヨタは、「クルマづくりを通じて地域社会に貢献する」という創業以来の理念のもと、ロシアの自動車産業の発展、及び経済に寄与する事業を展開するとともに、ロシアのお客様にご満足いただけるマーケットニーズにあった高品質な商品を着実に展開していく所存である。

<TMMR概要>

会社名	Limited Liability Company "TOYOTA MOTOR MANUFACTURING RUSSIA"
所在地	Санктペテルブルク市 シュシヤリ ソフィスカヤ通り 115
社長	松永 良典(まつなが よしのり)
会社設立	2005年5月
株主構成	トヨタ自動車株式会社 87.25% 欧州復興開発銀行 ^(*) 12.75% (* The European Bank for Reconstruction and Development)
生産開始	2007年12月
生産車種	カムリ
生産能力	5万台/年(現在2万台/年程度を生産)
敷地面積	約224ha(約68万坪)
投資額	総投資額 約50億ルーブル(約220億円*) * 2007年12月、生産開始時点の為替レートで換算
従業員数	約1300名

以上